

南陽地区会館感染防止策チェックリスト

項目	チェック	確認事項	特記事項
「3つの密」を避けるための取り組み			
密閉空間としない	<input type="checkbox"/>	窓の開放による定期的（30分に1回以上）な換気を実施する。2方向の窓を数分程度全開にする（窓が1つしかない場合は、入り口のドアを開ける、扇風機を併用するなど工夫する）。	窓の開放中には大きな音を出さないこと。
密集場所としない	<input type="checkbox"/>	施設の利用人数は概ね100人以下、収容定員の半分以下とする。（第1集会室10人、第2集会室10人、和室18人、茶室6人、実習室16人、体育室100人）	
密接場面としない	<input type="checkbox"/>	利用中は人と人との距離を2m程度あける。入口で密集しないよう、利用者の誘導等を行う。どうしても距離を確保できない催事を実施する場合は、アクリル板の設置等により遮へいする。	
	<input type="checkbox"/>	近距離での会話や大きな声を出さない。利用者がロビー等で飲食（体調維持のための水分補給を除く）や長時間会話しないよう、呼びかける。	
	<input type="checkbox"/>	【飲食を伴う催事を実施する場合】 2m以上の間隔を開けて、対面での飲食とならないよう、座席を配置する。	
	<input type="checkbox"/>	【運動・スポーツを行う場合】 運動・スポーツの種類に関わらず、着替えや休憩など運動・スポーツをしていない間も含め、周囲の人と2m以上の距離を開ける。	強度が高い運動・スポーツの場合は呼気が激しくなるためより一層距離を開けること。
<input type="checkbox"/>	【更衣室を使用する場合】 一度に入室する利用者の数を制限する。		
ウイルス飛沫・付着予防対策の実施			
マスクの持参	<input type="checkbox"/>	マスクを持参するよう、利用者に徹底する。	
手洗い等	<input type="checkbox"/>	手洗い・手指の消毒の徹底、トイレを使用する際は、蓋を閉めて流すよう、利用者に促す。	
利用者の健康状態の把握等			
健康状態の把握	<input type="checkbox"/>	非接触型体温計の活用や体温等健康状態の申告等により、利用者の健康状態の把握に努める。	非接触型体温計は貸し出し可能。
利用の自粛	<input type="checkbox"/>	発熱や咳、倦怠感などの体調不良時には施設を使用しないよう、利用者に呼びかける。	
感染追跡調査を可能とするための措置の実施			
連絡手段の確保	<input type="checkbox"/>	感染者が発生した場合に備え、利用者の連絡先を把握しておく。	
調査への協力	<input type="checkbox"/>	感染者が発生した場合には速やかに保健センター、施設管理者に連絡をとり、感染追跡調査に協力する。	
その他			
規定等の遵守	<input type="checkbox"/>	感染防止のために上記事項を遵守し、地区会館の職員の指示に従う。	